

経営比較分析表（令和5年度決算）

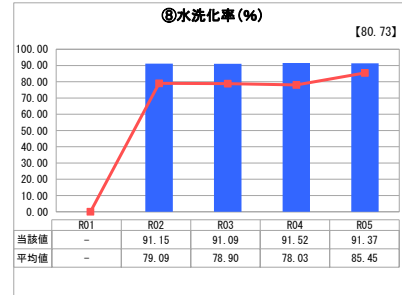
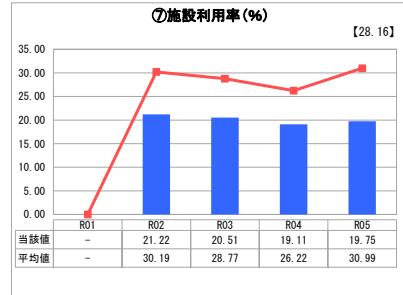
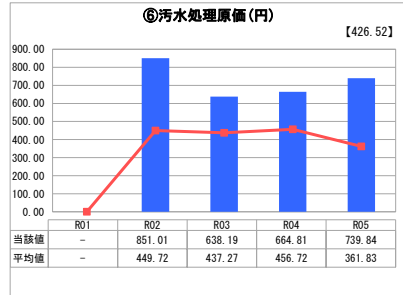
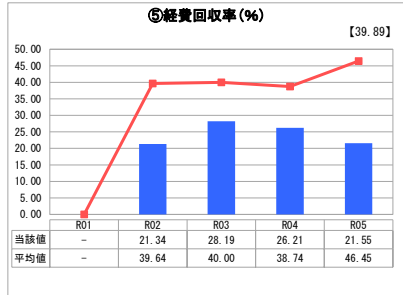
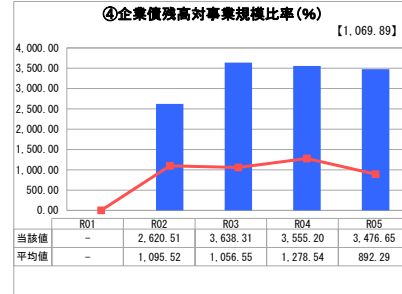
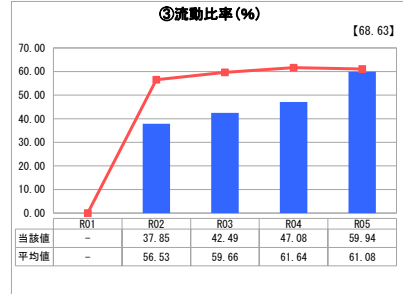
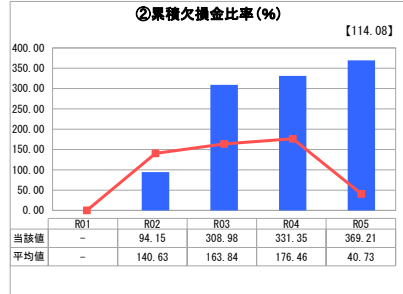
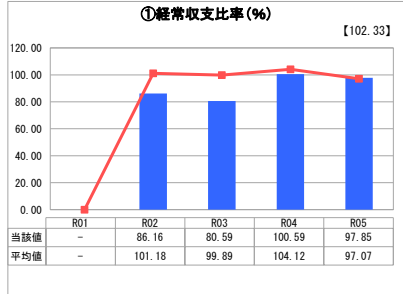
佐賀県 唐津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	HI	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	61.03	2.18	102.35	3.300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,475	487.60	236.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,504	2.31	1,083.98

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

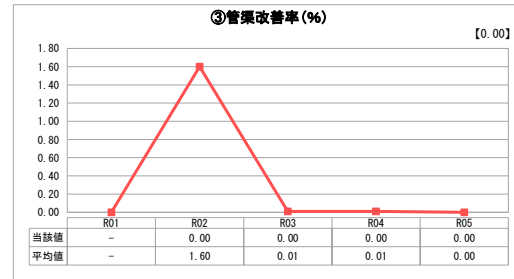
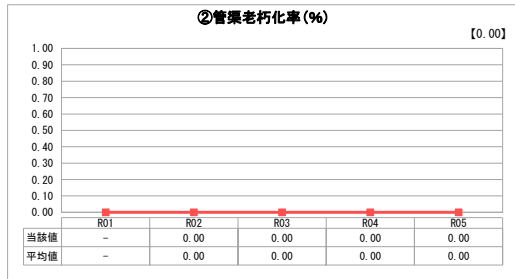
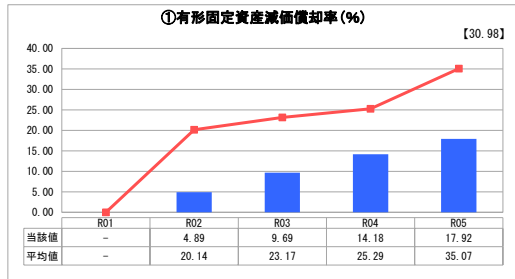
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率について、料金収入の減及び維持管理費の増により100%を下回ることとなった。
 ② 累積欠損金比率については、料金収入の減少により昨年より悪化している。他の類似団体の平均値と比較しても約9倍となっている。
 ③ 流動比率について、昨年よりも数値が上昇しているが、企業債の借入額の増による現預金の増加が原因と思われるため、本質的に改善しているとは言えない。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債の借入上限額を償還元金より低く設定し現在高の減少に努めているが、資本費平準化債の借入により現在高の減少が緩やかになっているため類似団体と比べて非常に高い数値を推移している。
 ⑤ 物価上昇などによる維持管理費の増により、前年度に比べてもさらに低い数値となっている。
 ⑥ 維持管理費の増、**有収水量の減少**により、前年度に比べても悪化している。
 ⑦ 処理水量の増加によりわずかに昨年よりも改善はしているが、まだまだ低い数値となっている。
 ⑧ 水洗化率について、類似団体と比べても高くなっている。今後も100%を目指し推進を図る。

2. 老朽化の状況について

① 企業会計へ移行してからまだ4年と年数が少ないため、低い数値となっている。
 ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数(50年)を経過している管渠はない。
 ③ 管渠改善率は、老朽管がないため更新等は行っていない。今後は、「唐津市漁業集落排水施設最適整備構想」に基づき、施設の老朽化対策を計画的に進めることとしている。

2. 老朽化の状況



全体総括

料金減少、経費の増加による経営の不足部分を繰入金及び企業債により賄っている状況である。人口減少が続いている区域であるため、大幅な使用料収入の増加は見込めない。長寿命化工事や、施設の更新の際のダウンサイジングを行い、経費削減につとめながら、料金改定の検討をしていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。